

平成22年度 大田区区民協働推進会議（第六回）

次 第

平成23年2月4日（金）
18時30分～20時30分
本庁舎802会議室

- 1 地域力・国際都市担当部長 あいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 地域力応援基金ステップアップ・ジャンプアップ助成の継続審査
(1) 団体訪問・継続書類審査・面接審査結果確認
(2) 審議
- 4 推進会議テーマ「連携・協働の仕組みづくり」の審議
- 5 平成22年度第七回推進会議について
開催日 2月21日（月）開催予定 教育委員会室にて
開催時間 18：30～20：30
- 6 その他

[出席者]

推進委員 9名
地域振興部地域力・国際都市担当部長（区民協働担当課長）
区民協働担当 3名

区民協働推進会議（第六回） 会議録 平成 23 年 2 月 4 日

事務局 区民協働推進会議を始めます。今日は、地域力応援基金助成事業継続審査と連携・協働の仕組みづくりの討議です。それでは、まず地域力・国際都市担当部長担当部長からあいさつさせていただきます。

担当部長 お忙しい中、ありがとうございます。会議はあと2回です。2年間の活動報告の骨子を作成しました。1月27日からNPO・区民活動フォーラムを開催し、終了しました。団体主催講座もあり、連携・協働が一歩進んだと思います。本日のご審議よろしくをお願いします。

事務局 それでは会長からごあいさつをお願いします。

k 委員 あと2回ということですが中味の濃い内容で審査とともに勉強になりました。本日もよろしくをお願いします。

事務局 ー資料の確認ー

担当部長 資料に基づき、審議願います。NPO・区民活動フォーラムの報告です。来場者数、区の主催講座4本有り、CSRでは、1委員にお世話になりました。

ありがとうございました。団体主催講座は5本ありました。パネル展示は1階、3階でおこないました。

mics おおたも連動して講座がありました。自治会とNPOの協働の事例です。蒲田東地区を題材にして講座を開催しました。委員の方にも参加していただきました。

k 委員 それでは、早速ですが平成22年度大田区地域力応援基金助成事業ステップアップ・ジャンプアップ助成の継続審査を始めます。まず、事務局から資料の説明をお願いします。

ー 審査会につき、非公開 ー

では、次の議題に入っていきます。「連携・協働の仕組みづくり」についてですね。活動報告の骨子を事務局でまとめていただいたようなので、ご説明ください。

担当部長 資料説明 …平成21・22年度活動報告 骨子について ー

提言に関して審議をお願いします。項目についてもこれで良いかご確認ください。

k 委員 ただ今部長からご説明がありました。みなさんご意見ををお願いします。

L 委員 NPO法人等を区民活動団体の前につけてほしい。解決策について終わったことか現在進行形かやろうとしていることなのかを区別してほしい。

担当部長 (参考)であがっているものは進んでいます。提言のところで活用できる仕組みの例を具体的にしているが考えてみます。区別については考えさせてください。

k 委員 すぐに頭が働かないので持ち帰って考えたいです。

事務局 アンケートをファックスで送付します。2月14日までに回答をお願いします。メールはL委員、I委員、Q委員、P委員に送信します。アンケートは①提言の項目についてと②提言の内容についてです。

事務局 その他について何かありますか。

Q 委員 報告です。区民活動団体の連絡会を作りたいということで準備会をしてきました。区民活動フォーラムのとき1月29日講座を開きました。58人でグループディスカッションをしました。区民活動団体の連絡会は3月に顔合わせ、4月に設立です。情報サイト登録団体とつどい交流していこうと推進会議のみなさんと連携・協働できたらと思います。ご報告です。

k 委員 NPO 団体との協働が、自治会・町会では理解されていない。土台が違ってあるので。違っていいんですが平成14年から実っていかない。どうも理解がされていない。町会が新しい方に目を向けられない。なじめないという意見がある。

続けていきたいなら連携していく意味をどうやっていくか、このやり方ではどうか検討する必要があると思います。他の町会への波及は町会同士でやらなければならないと思っています。それを切実に考えています。勝手に人の組織の名を使ったり、事業に引き込まれたりして、わけがわからなくなっています。始めから一緒にやらないとだめだと思う。もう少し考えてやってもらいたい。自治会・町会は専門性が低い。意思の疎通が図られていない。そういう中で率先してでていっても代表してどう説明していいか困惑することがあります。

P 委員 連携は声のかけ方が課題です。

M 委員 町会は何十年という歴史がある。NPOとは比べものにならない。町会の副会長をやっているが、私の町会にはNPOはない。

L 委員 NPOができた経緯が違います。もうそろそろ、町内会も全然知らないという態度は変えた方がいいと思います。

M 委員 私の町会にはNPOはない。なじめない。今の話はまったくかみ合わないです。

L 委員 地域にないことと区内で活動していることとはレベルの違う話です。周りにないのでご存知ないということは理解できますが…

M 委員

そうです。

L 委員

この委員会に長く参加していますが、実際にNPOの方もいらっしゃるわけです。その方たちの前で歴史が短いとかまだ活動が知られていないとかというのはどうかと思います。今日のk委員とM委員のお二人の話を聞いていると大田区では自治会・町会があればいいように聞こえてきます。あくまでも私の感じですが…

k 委員

そんなことは言っていないです。

L 委員

あくまでも私の感じですが。今日も2時間かけて議論しているわけですから、自治会・町会、NPOの方、区民の方もいらっしゃるわけだから、せっかくだからお互いの意見疑問点をぶつければよいと思います。みなさんが集まっているときにNPOや自治会・町会の問題点などを話し合えばよい。そうでなければ区民協働推進会議の活動の報告を残しても活かすことができないと思います。

k 委員

地域を長くやっていると意見が違ふ。立場が違ふと意見が違ふのだから一緒にしないでほしい。どうやったら理解できるかと言っているだけです。

M 委員

協働して動けるようにこれから理解しあえるということです。いろいろあると思います。あいさつして行ってやっとなんですよ。

L 委員

いつもあいさつだけではだめですよ。時には熱く議論しないとそれがこの会議ですから。

担当部長

Q委員さんが言っているのは、少しずつ進捗していることのご紹介です。

k 委員

よかったと思っていますが、まだ大半が理解していないからつめてやっていきましょうと言っているんです。活動報告も方針が盛り込まれればよいなと思っています。

Q 委員

もっと論議するのはほんとですが、ありがたいのは、つながりができたことです。会議の意味があると思っています。

k 委員

事務局のコーディネートが必要だと思います。表面だけのようがします。踏み込まないといけない。理解していない我々も悪いが、町会は理解していないので、どういった手段が必要でしくみをつくっていくのが大きな課題です。

担当部長

自治会・町会はk委員が、NPOはQ委員がとっかかりをつくってくれたと思います。

担当部長

ご相談していきたいと思っています。

k 委員

簡単ではないですが、みんなで努力するんですよ。

担当部長

おそらくQ委員も大変だったと思います。

Q 委員

安心ノートの件で蒲田東の方と考え方が違うのがわかりました。地域のみなさんが声をかけていただけて良かったです。

担当部長 次回最終回です。よろしくお願いします。

終了

平成22年度 大田区区民協働推進会議（第七回）

次 第

平成23年2月21日（月）

18時～20時

本庁舎 教育委員会室

- 1 地域力・国際都市担当部長 あいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 地域力応援基金スタートアップ助成継続審査
 - (1) 団体訪問・途中報告会・継続書類審査結果確認
 - (2) 審議
 - (3) スタートアップ助成（新規）の配点について
- 4 推進会議テーマ「連携・協働の仕組みづくり」の審議
- 5 その他

[出席者]

推進委員 10名

地域振興部地域力・国際都市担当部長（区民協働担当課長）

区民協働担当 3名

事務局 区民協働推進会議を始めます。今日は、地域力応援基金助成事業継続審査と連携・協働の仕組みづくりの討議です。担当者が参加しています。それでは、まず地域力・国際都市担当部長からあいさつさせていただきます。

担当部長 お忙しい中、ありがとうございます。一本日の議題の説明—

事務局 それでは会長からごあいさつをお願いします。

K 委員 区民協働推進会議は長いことやってきました。2 年間、助成金の審査が入ってきて一時は審議の時間が削られると危惧していたがそれは思い違いでした。審査をする中で事業の形が見えてきた。この会期でやめられる委員の方は別の形でぜひ出てきてください。

事務局 まず、事務局から資料の説明をします。—資料説明—

それでは事務局から本日の議題と提案について説明いたします。

担当部長 平成 23 年度スタートアップ助成の募集案内について、3 月 15 日説明会開催について、スタートアップ助成継続審査について、テーマ連携・協働の仕組みづくりの審議について、以上です。

K 委員 それでは、早速ですがスタートアップ助成事業の継続審査を始めます。継続審査について事務局から説明をお願いします。

—審査会につき、非公開とする。—

K 委員 次の議題に入っていきます。「連携・協働の仕組みづくり」についてですね。

事務局 — 提言に関してアンケートの結果を説明。活動報告骨子、アンケートの読み上げ —

担当部長 だいたいこのようなものが提言になってくると思います。今のは案ですので内容、形式は変わると思います。 L 委員から項目についてご意見があるようです。

K 委員 今事務局から説明していただきました。何か追加したいことがありますか。 L 委員から項目についての追加意見がだされていますので、ご説明をお願いします。

L 委員 区民活動団体の範囲があいまいだと思います。一括して扱うとあいまいになると思います。始めに団体の定義をはっきり書いた方が良いと思います。

事務局 この原案に対して、3 月始めまでにご意見をいただき、それをまとめたものを委員に示して、3 月中旬までにまとめて提言書へと仕上げていきたいと思

っています。

Q 委員 大田区の区民活動団体はあいまいであるまま使っています。こういうくくりを明確にする必要はあると思います。この提言書でどうくるかを示せばよいと思います。

事務局 区民活動団体の定義については、連携・協働の基本方針を検討したパートナーシップの会議で論議しました。イメージをどう作っていくのか。その時に自治会・町会の活動団体も区民活動団体と捉え直すと話し合われました。

K 委員 会議に出た時、町会も区民活動団体のひとつですと発言した経緯があります。ただわからない人も沢山いると思うので区民活動の文章の中に団体を定義づけていく必要があるかと思います。

事務局 わかりました。提言の中でわかりやすくまとめます。

担当部長 地縁団体、NPOも入るとのことですね。

K 委員 そうですね。わからない人がいるからはっきりさせる部分は必要だと思います。他にありますか。なければこれで終了します。委員の皆様ありがとうございました。

事務局 皆様、2年間ありがとうございました。これで今期の区民協働推進会議は終了します。2年間、地域力応援基金助成事業の審査と、テーマ連携・協働の仕組みづくりのご審議ありがとうございました。

終了